

1000か所ミニ集会

テーマ：「調和のとれた福田っ子（知・徳・体）」を地域で育む

11月16日（金）に本校において、1000か所ミニ集会が行われました。参加者は、学校評議員、本校PTA役員、青少年補導員、福田地区地域コーディネーターさんたちで構成され、テーマに沿って「知・徳・体」の3つに分けて協議しました。非常に深まりのある話し合いができたと思います。また、川崎コーディネーターが和やかな雰囲気を進めていただきました。ありがとうございました。

当日の話し合った内容や、学校側からの説明等について以下に記します。



1 ミニ集会について

(1) テーマ設定の背景について

小中で一貫した教育理念に基づいて、福田の子どもたちを地域・家庭・学校で育てていこうとする姿勢で「福田プロジェクト」が始まった。3校の小学校が共通の目標をもちながら生活し、中学校に引き継ぐことによって、小中の大きなギャップが少しでも小さくなり、スムーズな移行で9年間の学校生活を送ることが理想である。昨年度の共通の取り組みである「早寝・早起き・朝ご飯」を継承しつつ、今年度は新たに「ホット♡デー」と称し、家族団らんを促す取り組みを行っている。福田地区の小中学校の目標である「調和のとれた福田っ子（知・徳・体）」に近づくために福田地区全体で考えていく。

(2) 実施主体について

野田市立福田第一小学校が主催にミニ集会を行う。

2 内容・形態について

昨年度行った学校アンケートを活用し、その結果をもとに参加者で話し合い、協議を行った。

福田の子どもたちの人間力向上を大きな目標として教育活動を行っている。

当日は以下の3つの視点で話し合いを持ち、家庭・地域・学校でどのように取り組んでいくとよいか協議した。

1 「知」について

学校では、土曜授業などを活用し基礎基本的な問題から、発展的な問題へとつながるよう取り組んでいる。また、今年度からNIEを活用し、新聞に慣れ親しみながら、記事を読み内容を理解し、自分はどう感じ、クラスの仲間はどうの思いを持ったのかなどを繰り返し行ってきている。また、地域では、福田公民館主催で行われている「里山自然観察会」や「歩け歩け大会」なども大きな存在である。農業体験活動では、東葛北部土地改良区、農協や共生ファームさんなどの協力を得て、貴重な体験活動を行っている。このような取り組みを地域に理解していただき、さらに協力を求めていきたい。

4名参加

- 学力テスト等では良い結果が出ている。これは家庭学習を継続して行っているからではないか。中学校にもいい影響がでていると思われる。
- 福田の自然を生かした農業体験等が豊富で、多くの協力を得ている。
- 調べることはできるが、その事実を見極める力をつけさせたい。図書やNIEの活動を生かしていきたい。
- 外国語やプログラミングなどの新しい学習が増えているが、ボランティアとして、得意なことを子どもたちに指導・支援していく体制作りはどうか。
- 少子化への課題として、小中一貫校にしてはどうか。

2 「徳」について

道徳の授業を通して、子どもたちに道徳的価値について指導している。あいさつ運動や校庭の掃き掃除など、奉仕作業なども上級生が率先して行うようになっており、道徳心が育ってきている。また、命の大切さについても様々な場面で体験している。今年度のテーマである「ホット♡デー」を通して、家庭内のコミュニケーションなどが一層深まり、家族間のあたたかさが地域や学校生活にいい影響を受けることを期待している。

5名参加

- ・授業を通して道徳性を育てていきたい。
- ・地域として、どのように声をかけていくかなど課題がある。（不審者に間違えられるかもしれない）
- ・不審者と思われたいのためにも、あいさつや声かけの回数を多くしていきたい。
- ・体験活動などを通して道徳的な実践力を育てていきたい（農業活動、花の栽培など）
- ・生き物を観察したり育てたりする中で、命の大切さを学び、感謝する気持ちを育てていきたい。
- ・地域行事への参加を奨励する。
- ・児童が学校で使用している「道徳ノート」を活用し、お家の方と情報を共有するとともに「道徳を育む」ことの協働をすすめていきたい。



3 「体」について

体育の授業、部活動、レクや休み時間の遊びなどを通して健やかな体作りに努めている。地域ではクラブ活動などで子どもたちの健康を推進している。このようなスポーツなどを行うことにより、ルール・マナーなどもあわせて学ぶことができる。また、安全についても向き合う機会として、とても貴重な活動である。ケガの予防などは、スポーツを行う上でとても大事なことである。安全という視点に注目すると、交通安全や不審者対応なども含まれる。登下校時、安全に歩行し無事に帰宅することは、学校・地域・家庭のすべてが望んでいる。安全指導は、直接命に関わることなのでとても大切である。

地域との結びつきが強くなれば、子どもたちへの声かけなどもこれまで以上に活発に行えるであろう、ということである。地域行事などの一過性の関わりではなく、日常的なつながりを意識し、日常生活の安全や生徒指導の充実につなげていきたいと考える。地域との結びつきや関わりの深さは、学力向上に起因するものととらえて、取り組んでいきたい。

4名参加

- ・子どもたちの下校時など、見守りとして地域の協力は必要。防犯パトロールを地区の方でできないか。（子どもへの声かけだけでも十分）
- ・地域行事などが減り、子どもたちが地域と関わるのが以前より減った。
- ・自治会、婦人会などからも児童にはたらきかけ、地域行事に参加させる。
- ・今ある行事（歩け歩け大会など）等を継続させ、そして積極的に参加し、地域の人のコミュニケーションを多くとってほしい。

以上の内容で話し合いを行い、最後に川崎地域コーディネーターにまとめていただきました。また県教育庁生涯学習部副主幹 牧野瀬 太 様にも出席いただき、ミニ集会を終えての感想をお話しがありました。牧野瀬副主幹から、「このように真剣に子どもたちのために話し合う地域のミニ集会を見ることができ、うれしく思いました」とありがたいお言葉があり、ミニ集会の幕が下りました。参加して下さったみなさ

ん、ありがとうございました。

「調和のとれた福田っ子（知・徳・体）」を地域で育む 実施要項
野田市立福田第一小学校

1 ねらい 「調和のとれた福田っ子（知・徳・体）」を地域で育むために、家庭・地域・学校でできることを考え、話し合う

2 主催 野田市立福田第一小学校

3 期 日 平成30年11月16日（金） 午後1時15分 開場
午後1時30分 開始
午後2時35分 終了

4 会 場 野田市立福田第一小学校 けやきルーム（1F）

5 内 容 PTA 代表、地域住民、福田第一小学校職員代表による意見交換

6 参加者 本校PTA本部役員、川崎地域コーディネーター、福田地区コーディネーター、学校評議員、青少年補導員、野崎校長、渡部教頭、間中教諭
約16名

6 日 程 午後1時15分～ 受付
午後1時30分～ 開会
午後1時40分～ 協議会（川崎地域コーディネーター）
午後2時30分～ 講評
午後2時35分 終了

7 当日の次第（進行：間中教諭）

（1）ミニ集会の流れ

●主催者あいさつ

福田第一小学校長 野崎弘之

●参加者による自己紹介

●テーマについて

福田第一小教頭 渡部英治

●質疑及び意見交換

進行：川崎コーディネーター

●ミニ集会の感想

川崎コーディネーター

●感想

県教育庁生涯学習部副主幹 牧野瀬 太 様

